

一般質問予定表

平成28年第2回定例会（第4号）

2番 宮本要代 議員（公明党議員団）

【総括方式】

- 1 防災対策について
 - ① 消防団員減少のなか人材の確保を。
 - ② 婦人防火クラブの活動について。
 - ③ 災害協定について。
 - ④ 避難所の備蓄について。
 - ⑤ 防災訓練の評価と今後の計画は。
 - ⑥ 災害時の避難行動要支援者の支援について。
- 2 図書館の利用について
 - ① 図書館利用対象者の拡大を。

3番 玉田隆紀 議員（公明党議員団）

【一問一答方式】

- 1 企業誘致について
 - ① 企業誘致の考えは。
 - ② 今後の展望や政策の考えは。
- 2 不登校対策について
 - ① 不登校の現状と対策は。
 - ② 起立性調節障害による不登校の現状と情報提供は。
- 3 空き地の雑草等の除去について
 - ① 空き地等の雑草による住民のトラブル及び現状は。
 - ② 解決方法は。
 - ③ 代執行等を取り入れた条例改正の考えは。

16番 尾和弘一 議員

【一問一答方式】

- 1 ヘイトスピーチについて
 - ① ヘイトスピーチ解消法の意義と認識はどうか。
 - ② 今後の対応はどうか。
 - (1) 条例制定の考えはどうか。
 - (2) 職員への研修はどうか。
- 2 危機管理について
 - ① 家屋倒壊 判定員の人員。
 - ② 罹災証明書の発行 訓練実施はしているのか。
 - ③ 上下水道の管路図は完備しているのか、耐震化はどうか。
 - ④ 全ての避難公共施設の耐震化率はどうか。再点検する必要性はないのか。
- 3 財産区に関して
 - ① 岩出市内にあるのか。（岩出町議会昭和31年7月4日可決）
 - ② 有る、無い場合における地方自治法第3編第4章との関係はどうか。

- 4 ワクチン接種に関して
 - ① H26・27年度同時同日接種件数(人)及び初診料重複額はいくらか。
 - ② 子宮頸がんワクチンの接種者数及び後遺症の発症件数はどうか。(年度毎)
- 5 差別解消法について
 - ① 障がい者差別解消法に関して。
 - (1) 障がい者別人員はどうか。
 - (2) 各部における具体的取り組みはどうか。
 - ② 要約筆記への取り組みはどうか。
- 6 除染廃棄物について
 - ① 環境省の方針をどう考えるか。
 - ② 岩出市の方針はあるのか。
 - ③ 岩出市内での道路などの建設資材に再利用しないよう求める。
- 7 ゴミ有料化実施について
 - ① 有料化前と後との比較。(年代別に求める)
 - ② 今後の総括・検証・対応はどうか。

15番 増田浩二 議員(日本共産党議員団) 【一問一答方式】

- 1 小中学校への冷暖房について
 - ① 3月議会で、財政状況、補助金の有無、他の教育施策の優先度等を勘案して、適切な時期に判断をしたいと答弁された。冷暖房整備に向けての今後の対応をどう考えているのか。
 - ② 教育委員会として計画を進める上での、財政状況、補助金の有無の調査、検討はいつまでに行うのか。
 - ③ 教育委員会として教育施策の優先度を図るものさしとは、どのような考えを基準としているのか。
 - ④ 子どもたちの健康、学習環境の改善は優先度の点では、どのような位置づけにあると捉えているのか。
 - ⑤ 市長として教育委員会の要請に対して、どのように応えていく考えなのかをお聞きしたい。
- 2 自治会の補助金申請について
 - ① 自治会に対する補助金施策に、集会所の建設、維持管理、備品購入に対して補助する制度があります。維持管理や備品購入の場合、自治会側で先に購入を行った場合、補助されない規定となっているが見直すべきではないか。
 - ② 集会所建設という場合には、工事関係など申請書類の枚数が必要なのは理解できるが、備品購入をした場合などは、何枚も申請書類を書かなければならない面などは、簡素化を考えてはどうか。市においても資源の削減につながり経費節減になると考えます。
 - ③ 新興団地が増えるなかで、市から補助がでることを知らない自治会もあるのではないかと。自治会の総会でも一定資料なども配付がされていますが、制度を有効活用していただく上でも周知の推進を。

3 危険建物について

- ① 岩出市空家等対策計画が平成28年3月に策定されていますが、協議会設置においてメンバーの選定、会議の開催などは、どのように進めようと考えているのか。
- ② 将来特定空家になりえるとされる家が目視調査で35件、あき地条例で17件が確認され、計画では今後、岩出市全域の調査を開始するとされています。現時点で、屋根瓦が落下しないよう網を被せている家屋も見られますが、危険建物といわざるをえない状況をどう認識しているのか。
- ③ 目視点検における35件の状況と、これまで市としてどのような対応や対策、指導助言を行ってきたのか。また、今後の対策は。

10番 田畑昭二 議員（公明党議員団）

【総括方式】

1 文化行政について

- ① 芸術文化振興基本法による地方自治体の責務はどういったものがあるか。
- ② 当市の取り組みは、どのようなものか。
- ③ 子供たちに本物の芸術に触れさせることで、豊かな心を育むことができるといわれ、そういった機会をできるだけ多く持てないか。
- ④ 当市の総合体育館などの公共施設の使用料が他市と比べ高いようだが、音楽、バレエ、舞踊等の発表の場として、文化育成の観点で、減免措置はとれないか。

2 原付バイクの試乗ナンバーについて

- ① バイクショップ等の業者では、不特定の未登録バイクを移動する必要があるため、仮（試乗用）ナンバーのニーズがあり、自治体によって発行されている所があるが、当市は導入していないが、導入していただけないか。

3 再生可能エネルギーについて

- ① 地球環境に優しい太陽光発電は、電力自由化や家庭用蓄電池の性能も上がり、また、災害時にも対応できるのでニーズが広がっている。現在、和歌山県では、太陽光発電設備導入に補助がなされており、当市においても単独で補助するお考えはないか。

14番 市來利恵 議員（日本共産党議員団）

【一問一答方式】

1 子どもの貧困問題を問う

- ① 子どもの貧困問題への取り組みとして行っている家庭児童相談事業、ひとり親相談支援事業について、件数及び具体的な対応事例は。
- ② 子どもの貧困対策大綱では、地方自治体も子どもの貧困対策についての検討の場を設ける。また、子どもの貧困対策についての計画を策定するように、とある。市の対応は。
- ③ 子どもの貧困実態調査を求める。

2 不登校児童生徒への支援策について

- ① 小学生・中学生の不登校生徒の現況は。
- ② 市のこれまでの取り組みの成果と課題は何か。
- ③ 一人一人の多様な課題に対応した切れ目のない組織的な支援の推進について。

3 ねごろ歴史資料館について

- ① これまでの入館者数と年間来場者数の目標は。
- ② 市民からの評価はどうか。
- ③ 入館料について見直しの考えは。